どんぐりの森通信　第25号　2014年4月

日に日に明るくなる日差しが、春の訪れを予感させてくれるこの頃です。道内各地で早くも冬眠から目覚めたヒグマの姿が目撃されたとか。平岡の『春告げ鳥』アオサギも３月末には数を増して営巣の支度を始めました。雪解けの早い陽だまりの池では、そろそろエゾアカガエルの産卵が始まります。春本番はすぐそこまで来ていますね。

『平岡どんぐりの森』は札幌市の平岡公園・東部緑地周辺をフィールドにして親子の自然観察会「ながぐつの土曜日」や、樹木を中心にした大人の観察会「平岡公園ツリーウオッチング」など、身近な自然に親しむ活動をしているグループです。平岡公園の湿地や池、東部緑地の林や大曲川の水辺、アオサギが営巣するイオンの森など、身近に残っている豊かな自然を楽しみながら、地域の自然環境を見守る目を増やしていきたいと活動しています。

会報「どんぐりの森通信」第２５号では、2013年11月～2014年３月の報告と今年度の活動予定をお知らせします。

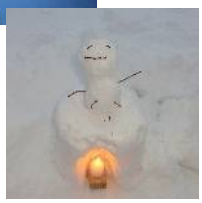
◆◆　冬の活動から　◆◆

1月18日（土）　冬の平岡公園にぎわいフェスタ（参加者　86　名）

冬のにぎわいフェスタは雪山すべり台が大人気。広場に造った雪山は、管理事務所と学生ボランティアの皆さんの力作です。てっぺんに立つと見晴らしも良い！スピードを上げて斜面を滑り降りる子どもたちに混じって、負けじと滑る「元少年・少女」の姿も見られました。

恒例の「雪の森たんけん」では、今年は大そりが登場。小さい子たちを満載して、トナカイならぬ大学生のお兄さん・お姉さんが全速力で走ります。「もう１回、もう１回」とせがまれて、汗だくになっていました。スノーシューをはいて歩いた子どもたちは、はがれた樹皮のあいだに潜む虫の卵を見つけたり、野鳥の声に耳を澄ましたり、冬の森を楽しみました。

雪の森を歩いた後は、暖かい室内で美味しいお汁粉をいただきながら夕暮れを待って、広場に並べたスノーキャンドルに灯をともします。
寒い中でも楽しく過ごした１日でした。



ながぐつの土曜日

毎月第 3 土曜日は、小学生の親子を中心にした観察会「ながぐつの土曜日」です。季節のテーマを選んで、平岡公園内をくまなく探検しています。草木や花、虫や魚、カエルやヘビと、出会ったものから話が広がる楽しい観察会です。生きものの生態に詳しい酪農大学の学生さん達も毎回参加しますので、どんどん質問して下さい！冬季はスノーシューを履いて雪の森を歩きます。積雪期にだけ入れる森の奥を探検してみました。

雪の森たんけんたい　　2 月 15 日（土）　（参加者 23 名）

今日は、積雪量も雪面の固さもちょうど良いスノーシュー日和です。初めてスノーシューを履く子どもたちも、すぐに慣れて上手に歩けました。入口近くの**プラタナス**並木では、雪面に落ちていた実を拾って観察。固い実を割って中をのぞいて見ると、綿毛が付いたタネがぎっしり詰まっています。風に乗って遠くまで飛んで行きたいのですね。丸い可愛い実がたくさん成る姿から「鈴懸けの木」とも呼ばれているとの解説に、一同フムフムと肯きました。木立の中を進むと、**シラカバ**の幹に**エゾハルゼミ**らしい脱けがらがたくさん付いています。背なかの中央に大きな裂け目があるのを見つけて「ここからヨイショ！と脱け出したのだね」と感心する子もいました。そういえば昨年の夏はセミの声が多かったですね。

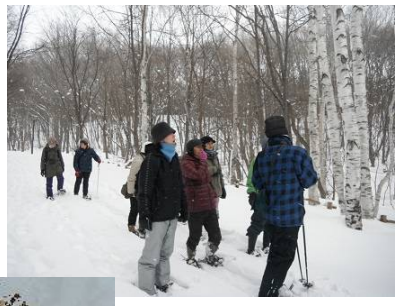
オオカメノキの冬芽と花

「ウサギ、見つけ！」の声にふりむくと、あれ？**オオカメノキ**の冬芽でした。**エゾユキウサギ**の足跡は時々見つかりますが、姿はなかなか見られませんね。**オオカメノキ**の冬芽は、長い耳を伸ばしたウサギそっくり。真ん中の丸い部分が花に、両耳は葉になるんだよ。明るい冬の森の中を、あちこちから聞こえる野鳥の声に耳を澄ませながら歩きました。

平岡公園ツリーウオッチング

毎月第3水曜日の『平岡公園ツリーウオッチング』は、樹木を中心にした自然観察会です。平岡公園は梅の名所ですが、梅園の背景の森には**コナラ**や**ミズナラ**をはじめ、**イタヤカエデ**、**ハリギリ**、**ホオノキ**など多種類の樹木があり、**ツルアリドウシ**、**アクシバ**、**イチヤクソウ**の仲間など林床の植物も豊富です。四季の移り変わりを楽しみながら定点観察で森の一年を見つめるツリーウオッチング、年々参加者が増えてきました。

スノーシューで冬の森を散策　　2月19日（水）（参加者10名）



朝の吹雪で参加者の出足が鈍りましたが、出発時間には雪はやみ、青空ものぞいてきました。今朝の話題は、数日前に姿を見せた**エゾフクロウ**。公園内で複数の目撃情報があり、私たちも見たいねと期待が膨らみます。残念ながら出会いはありませんでしたが、管理事務所職員の方が撮った写真を見ながら、若鳥が移動の途中で立ち寄ったのだろうか、営巣できるような大木はみつかったかなと、話がはずみました。**ナナカマド**の実は、先に来た**ツグミ**の大群にほとんど食べ尽くされてしまいましたが、わずかに残った実に**キレンジャク**が数羽集まっていました。**コシアブラ**や**ハリギリ**の冬芽、高い梢に残る**ヤドリギ**や雪の上に落ちた**ツルアジサイ**のドライフラワーなどに目を留めながら明るい冬の森を歩きました。